



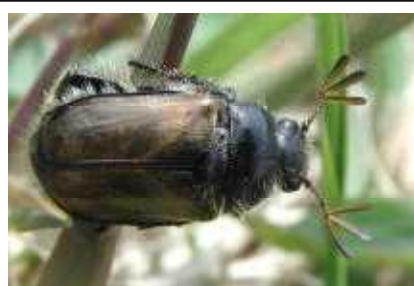
集合場所前のソメイヨシノは、この一月の間に満開を経て青々と葉を展開しています。桜に変わりツツジが咲き始めました。ツバメが飛び、ヒバリは空の階段を駆け上がって

踊り場で羽ばたいているように見えます。水資源機構の西側の雑木林は、もこもことした樹冠の形や色合いがきれいでした。今回はダムの上を通過して、教育センターに向かいました。



ハナミズキ咲き始める

町中では満開になっています。



ウスチャコガネおす

体長 10 ミリ前後。触角を開いて芝生の上を飛んでいました。幼虫は芝が好物です。



ヒメハラナガツチバチ

雌は土中のコガネムシ類の幼虫を探し見付けると土に潜り、産卵します。



ツバメ

まだ渡ってきて間もないのでしょうか。じっと止まっていた。



ウスカワマイマイ

空の高さ 20 ミリほど。人家近くで多い。夜活動。

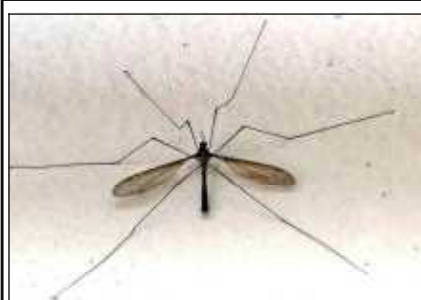


コンクリートつらら 鍾乳石と同じ成分でできています。



ヒバリ

小さい体でホバリングしながら懸命に回っています。



キリウジガガンボおす

幼虫は水生昆虫で、稲の根を食べるようです。



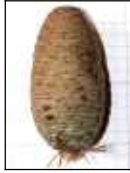
マガリケムシヒキ

体長 20 ミリ弱。飛んでいる昆虫を捕らえるハンターです。脚はツートーンカラー。



### シダーローズ

ヒマラヤスギの樽形の球果は、熟すと種を飛ばすため鱗片（左下）をはがしながら種を飛ばします。落ちていたのは実の先端部です。



### クロコノマチョウ

薄暗い林内が好みです。飛翔力があり枯葉の上に舞い降りると姿が見にくくなります。食草はススキなどのイネ科植物で成虫で越冬します。



### ヒメハギ

日当たりの良い乾いた場所を好みます。花の下部で2つに開いているのが萼です。その間に花があり、花の先が白い房状になっています。春から夏まで見られる常緑の多年草です。



### フジイコモリグモ

体長6mmほど。雑木林周辺の湿った落ち葉中によく見られます。



### クワハムシ

体長6mm。日光を反射して青藍色に輝いていました。上翅には点刻はありません。



ムネアカハラビロカマキリ卵のう外来種で樹上性のカマキリです。在来種ハラビロカマキリの古い卵のうもありました。



### コバノミツバツツジ

黄色や白、青い花に混じって林縁で紅紫色の花が目立ちます。花粉は細い糸で繋がって出てきます。

**植物** セイヨウ・ニホンタンポポ、コハコベ、ノミノツヅリ、ホトケノザ、トキワハゼ、タチカタバミ、ヒメオドリコソウ、オオイヌノフグリ、タチイヌノフグリ、オランダミミナグサ、スマレ、ヒメスマレ、ニオイタチツボスマレ、アリアケスマレ、タネツケバナ、キュウリグサ、ハナイバナ、ヒメハギ、ニガナ、スイバ、ヒメスイバ、ノアザミ、ブタナ、イタドリ伸びる、シナダレスズメガヤ、モエギスゲ、ベニシダ・コシダ新葉、ユキヤナギ、フジ、ハナミズキ、ヒラドツツジ、コバノミツバツツジ、ミヤマガマズミ、ウスノキ、アズキナシ、ツツジ、マルバアオダモ、サワフタギ花蕾、イロハカエデ、ハナノキ実、ユリノキ実、ヒマラヤスギ実、コウヤボウキ2年枝、ヒマラヤスギ実、**昆虫** キタキチョウ、モンシロチョウ、ヒメウラナミジャノメ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、クロコノマチョウ、ミノムシ、ヒメジャク類、ビロードツリアブ、ケブカクロバエ、ユスリカ類、キリウジガガンボ、キゴシガガンボ、マガリケムシヒキ、ヒメバチ類、セグロカブラハバチ死体、コマユバチ類蛹、ヒメハラナガツチバチ、キマダラカメムシ、アブラムシ類、オオワラジカイガラムシおす死体、ツチイナゴ、クビキリギス、ハラビロカマキリ古い卵のう、ムネアカムネアカハラビロカマキリ卵のう2個、クワハムシ、ウスチャコガネ、**クモ** フジイコモリグモ、チュウガタシロカネグモ、ウロコアシナガグモ、センショウグモ幼体、チリグモ、**鳥** ヒバリ、スズメ、ツバメ・巣、ハシボソガラス、シロハラ、ヒヨドリ、キジバト、ホオジロ雌雄、メジロ、シジュウカラ、コゲラ、カワウオオパン、コガモ、カンムリカイツブリ1、**その他** ウスカワマイマイ、ゴホントゲザトウムシ、ナラメイガフシ、モグラ塚、コンクリートつらら

次回は、5月138日(木) 午前9時30分、水資源機構P前集合、参加費100円